

特別講演会

主催：先導物質化学研究所

共催：精密有機合成化学リサーチコア

**題目：活性メチン化合物のアルキニルイミンおよび
ケトンへの共役付加反応を用いる新規合成反応**

講師：八谷 巖 助教授

(三重大学大学院工学研究科)

(九州大学先導物質化学研究所非常勤講師)

日時：2007年1月11日(木) 午後3時30分より

場所：理学部化学第3講義室

(箱崎キャンパス理学部2号館2階2273室)

八谷先生は有用有機化合物合成のための新手法の開発を積極的に進められ、顕著な成果を挙げておられます。本講演では活性メチン化合物の共役付加を利用した2-ピリドンの新しい合成法と、これを展開した新規反応についてご講演いただく予定です。

多数ご来聴くださいますよう案内申し上げます。

要旨：ヘテロ環化合物は天然有機化合物や合成医薬品などの様々な物質の構造に含まれており、特に含窒素化合物の新規合成反応の開発は最もよく研究されている分野である。演者らは三重結合を有するアルキニルイミンに対し2位に置換基を持つマロン酸エステルを活性メチン化合物として作用させたところ、イミノシクロブテノキシドを経由する従来にはない反応機構により2-ピリドンが得られることを見出した。この2-ピリドン生成の反応機構に着目し、種々の活性メチン化合物へと適用することによっていくつかの新規合成反応を見出したのでその詳細について紹介する。

連絡先：

九州大学先導物質化学研究所

稲永純二 (電話 642-2733、inanaga@ms.ifoc.kyushu-u.ac.jp)

古野裕史 (電話 642-2734、furuno@ms.ifoc.kyushu-u.ac.jp)